

令和2年9月4日

学生の皆さんへ

新潟工科大学

2020年度後期授業の受講における留意事項

2020年度後期授業は「新しい生活様式」に基づいて、対面授業と遠隔授業を併用しての実施となります。

対面授業を実施する科目、遠隔授業を実施する科目は、別紙の時間割を確認し、受講においては下記の事項に留意してください。

記

(1) 対面授業の受講について

- ・風邪の症状や発熱がある場合には、無理して登校しない。
- ・登校前には必ず、体温測定と健康観察（発熱、息苦しさ、強いだるさがないか）を行い、必ず記録を付ける。
- ・授業前後に流水と石鹸で手洗い、またはアルコール消毒をする。
- ・マスクを必ず着用する。（※各自で用意する。）
- ・必要に応じてフェイスシールドを使用する。フェイスシールドは使用後にロッカーには置かずに各自で持ち帰る。
（※フェイスシールドは中性洗剤で洗い、乾燥させて除菌する。）
- ・感染症予防のため、講義室の扉と窓を開け、エアコンで温度調節を行うため、衣服で体温調節を行う。
（※天候により窓を開け続けることが難しい場合は30分に1回以上数分間程度窓を全開にして換気を行う。）
- ・講義室の座席は前後左右の一定間隔を空ける必要があるため、シールを貼った指定座席を使用する。
- ・筆記用具等の物の貸し借りはしない。
- ・近距離や前後で振り返っての会話はできるだけ避ける。
- ・講義終了後は、講義室に設置してある消毒液とティッシュを使用して各自使用した机・椅子の消毒を行ってから退出する。（手指の消毒としても使用可）
（※消毒液にアルコールを使用するため、体質的にアルコールに触れることができない学生は、手袋等を各自で用意してください。）

- ・ 計算機実習室、高度シミュレーション実習室を使用する際は以下の感染症予防対策を行う。
 - ① 授業開始前後は流水と石鹸で手洗いをする。
 - ② 設置してある消毒液とティッシュを使用してスイッチ、キーボード、マウス、机の上を消毒する。
(※消毒液にアルコールを使用するため、体質的にアルコールに触れることができない学生は、手袋等を各自で用意してください。)
 - ③ 授業終了後、再び②の消毒を行う。
- ・ スポーツ実技 B (体育実技 B) については以下の感染症予防対策を行う。
 - ① 各自でタオルを持参し、飛沫が飛んだり、手で顔などに触れないように汗の処理を徹底する。
 - ② 体育館の更衣室は使用できないため、男子は体育館内、女子はクラブ室 (W205) を使用して着替える。
- ・ 出欠は講義室に設置している出欠システム (カードリーダー) を使用する。その際は、出欠システムの前で密にならないように間隔を空け、私語をせずに速やかに済ませる。ただし、履修者が多い科目は紙で出欠確認する場合がある。
(※担当教員の指示に従うこと)
※複数の講義室を使用する科目は、授業を受ける講義室内の出欠システムに学生証をかざす。
- ・ 感染拡大の状況により、対面授業から遠隔授業 (オンデマンド型や同時双方向型) へ切り替える可能性があるため、遠隔授業を受講できるように準備しておく。
※新潟県内に新型コロナウイルス感染症についての『警報』が発令されなくても、新潟県内の感染状況により、遠隔授業に移行となる可能性がある。
- ・ 対面授業の授業収録は行わない。
- ・ 大学院の授業科目は全て対面授業で実施する。

(2) 遠隔授業の受講について

- ・ 原則学内で、時間割に従って割り当てられた講義室で遠隔授業を受講する。ただし、PC を使用する科目等は台数に制限があること、Basic English 等の英語科目は発声が伴うことから、自宅での受講が認められる場合がある。
(※担当教員の指示に従うこと)
- ・ 遠隔授業を受講する際は、各自イヤホンを使用して周囲の迷惑にならないように注意する。
- ・ 遠隔授業は前期と同様にオンデマンド型 (授業収録)、同時双方向型、または対面授業 + 遠隔授業 (ライブ中継) で実施する。

- ・ 出欠は講義室に設置している出欠システム（カードリーダー）を使用する。その際は、出欠システムの前で密にならないように間隔を空け、私語をせずに速やかに済ませる。ただし、moodleでの授業動画の視聴履歴、課題やレポートの提出をもって出欠確認を行う場合がある。（※担当教員の指示に従うこと）

(3) 欠席する場合について

- ・ やむを得ず欠席する場合には、学務課（gakumu@adm.niit.ac.jp）に理由を添えて連絡すること。
※欠席した科目は授業担当教員から moodle やポータル等で連絡がないか、よく確認すること。

以上